

# ほっとネット

## Contents

- P1 巻頭言**  
公開講座の開催  
薬剤科長 長谷川 功
- P2 特集**  
泌尿器科  
泌尿器科 科長 北原 克教
- P3 診療科発**  
リウマチ科  
主任医長 鈴木 知佐子
- P4 部門紹介**  
5階東病棟の紹介  
看護師長 金子 佳奈
- P5 地域発**  
ちあき呼吸器内科クリニック  
院長 濱松 千秋先生
- P6 健幸な生活にむけて**  
リハビリテーション室 理学療法士 寺田 基
- P6 食欲の秋について**  
栄養管理室 管理栄養士 村仲 聡子



紹介受診重点医療機関になりました!!  
JR札幌病院 外来診療医師予定表

**JR札幌病院 基本理念**  
心の通う医療  
信頼される医療  
地域社会に貢献する医療

### 基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



R5.1.4日本医療機能評価機構より、  
3rdG:Ver2.0の認定を受けました。



## 巻頭言

## 公開講座の開催

コロナの感染も5月8日に「5類」に移行し、収束の兆しを見せています。今後、我々はより患者さんに信頼され貢献できる病院として生き抜いていかなければなりません。医療の安全を第一に考え、質を向上させ、紹介患者及び救急の拡大を元に急性期医療の充実を図り、地域医療への貢献に力を注いでいく必要があります。

今後ますます大切になってくる地域医療連携の一環として、薬剤科としてどうかかわっていけばよいか色々な方法があると思いますが、今回薬剤科としては、地域住民の皆様に向けた公開講座という地域講演会・教室の開催を考えております。講演会は二部形式をとり、一部は薬剤科によるJR札幌病院薬剤科と保険調剤薬局との協力によるお薬をメインとした講演を担当し、二部は医師による疾病についての講演をしていただき、その後、質疑の時間を設けたいと思っております。その第1回をまずは10月21日に開催する予定です。メイン講演は、JR札幌病院外科 副院長鶴間先生による「最新の直腸がん治療～手術なしでも完治の可能性～」を講演していただきます。薬



薬剤科長  
長谷川 功

剤科は直腸がんに使われる抗がん剤の作用、副作用、注意点などわかりやすく解説します。いわゆる公開講座の開催が、市民皆様の疾患やお薬に対しての興味につながり、薬の必要性、有効性を理解することで、病気に対しての不安を少しでも軽くする手助けができればと考えています。開催日や時間に関しては、ホームページや病院内での掲示、回覧板等で案内をする予定ですのでよろしくお願い致します。開催場所に関しては、当院門前の北海道科学大学サテライトキャンパスで行います。

講演後に参加者にアンケート調査をし、地域の皆様にお答えするために参考資料として活用させていただきます。地域の皆様の具体的な「こんなことが知りたい」「こんな講座を開いてほしい」などの要望も加味し、公開講座を継続していきます。

それに加え、地域住民の皆様との交流、医療についての知識を深めていただくことを目的として、当院の薬剤科員が直接皆様のところにお伺いしてご希望のテーマで講演をする「出前講座」も今後の薬剤科の活動として行っていきたいと考えています。

講師費用は無料となっております。

このような講座を通じて、薬剤師を身近に感じていただき、気軽に質問してもらえればと思います。

**第1回**

**JR札幌病院 市民公開講座**

参加費 無料  
どなたでもご参加いただけます！

2023年  
日時 10月21日 土 13:00-14:00

会場：北海道科学大学サテライトキャンパス  
札幌市中央区北3条東1丁目（JR札幌病院すぐ隣）

お申し込み不要：直接会場までお越しください。  
※駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用いただくか公共交通機関をご利用ください。

**第1部** 13:00～13:15  
「私たちがお薬のサポートをします！  
～病院・薬局薬剤師が連携して支える抗がん薬治療～」  
講師：清水 敦也（JR札幌病院薬剤科 外来がん治療専門薬剤師）

**第2部** 13:15～14:00  
「最新の直腸がん治療  
～手術なしでも完治の可能性～」  
講師：鶴間 哲弘（JR札幌病院外科 副院長）

ご参加いただく皆様への注意事項  
マスク着用の場合、ご参加いただけません。  
新型コロナウイルスの感染拡大等により、開催を中止する場合がございますのでご了承願います。

お問い合わせ JR札幌病院 薬剤科  
TEL:011-208-7150(代表)

主催：JR札幌病院 共催：北海道科学大学附属薬局



会場：北海道科学大学サテライトキャンパス  
〒060-0033 札幌市中央区北3条東1丁目1-1（JR札幌病院隣接）  
お問い合わせ先：TEL 011-208-7150(代表)

## 交通案内

地下鉄東豊線さっぽろ駅21番出口より徒歩3分

地下鉄南北線さっぽろ駅9番出口より徒歩6分

JR札幌駅南口より徒歩10分

特集

## 泌尿器科

## 診療内容

泌尿器科では、腎臓・副腎・尿管・膀胱・尿道・前立腺・精嚢・精管・精巣・精巣上体に生じる泌尿器疾患および男性生殖器疾患の診療をしています。腫瘍(がん)、排尿障害、尿路結石症、感染性疾患など泌尿生殖器の様々な病気の専門的診療を行っております。

## 当科の特徴

内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)による手術を行っております。

2022年4月より最新鋭型の内視鏡手術支援ロボット『da Vinci Xi・ダヴィンチXi』を導入しました。ロボット支援下手術(ダ・ヴィンチ手術)のメリットとは体の負担が少ない小さな手術創で、従来の開腹手術よりも繊細で確実な手術操作が行える点にあります。泌尿器科領域では、骨盤の奥深い位置にある前立腺や膀胱の手術、より繊細な操作が求められる腎がんの手術でその特徴を発揮すると言われております。ダ・ヴィンチ手術によって手術創が小さいだけでなく手術中の出血量、術後の痛みが減り、術後の回復が早くなりました。当科では、内視鏡手術支援ロボットにより、これまでの当院での豊富な手術経験のもと、患者さんにより侵襲の低い安全性が高い手術を提供致します。

● 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による前立腺がん手術  
前立腺がんは増加の一途をたどっており、男性のがん部位別罹患数で前立腺がんが最多となると予測されています。前立腺がんは、早期発見すれば根治できる可能性が高くなります。

当科では手術の依頼に対しては出来るだけ待機時間を短く対応することに努めており、さらに合併症がある患者様の診療も泌尿器科だけではなく他の診療科とも連携した対応が可能です。PSA(腫瘍マーカー)値が高値であった場合など、前立腺がんが疑われた場合はぜひ当科にご相談ください。

● 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による腎がん手術  
腎がんに対して、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術を

実施しています。出来るだけ腎臓機能を温存し病巣のみを切除する部分切除を当科では積極的に行っております。



泌尿器科 科長  
北原 克教



## スタッフの紹介

職名	氏名	学会認定等
科長	北原 克教 (きたはら かつゆき)	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会 技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 手術支援ロボット「ダヴィンチ」術者認定医 医学博士
医長	館岡 穰 (たておか じょう)	日本泌尿器科学会専門医 手術支援ロボット「ダヴィンチ」術者認定医
非常勤	永森 聡 (ながもり さとし)	日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医、指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 医学博士



## 連携について一言

あらゆる泌尿器科疾患に対応可能な入院診療体制を整えています。泌尿器科疾患に関しまして加療が必要な時は、ぜひJRR札幌病院泌尿器科にお気軽にご紹介ご相談ください。緊急入院も早く引き受けます。今後も札幌中心部にある急性期の病院として周辺の病院・クリニックの諸先生とともに連携をとりながら、ますます診療体制を充実し日頃の診療にあたりたいと考えております。当科は諸先生方の御依頼をすべて引き受ける断らない泌尿器科医をモットーとしております。今後も皆様のご指導・ご鞭撻何卒よろしくお願い申し上げます。

# 診療科発 **リウマチ科**

JR札幌病院リウマチ科はしばらく非常勤医師・出張医のみの診療体制でしたが、2023年4月から常勤医1名体制にリニューアルしました。

## 診療内容

リウマチ科では、関節リウマチやシェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、ベーチェット病、血管炎症候群、リウマチ性多発筋痛症などの膠原病・リウマチ性疾患の診断・治療を行っています。

当科では、常勤医1名が月・火・木・金曜日の午前あるいは午後の外来を、札幌医科大学附属病院免疫・リウマチ内科からの出張医が水曜午前の外来を担当しています。

入院が必要な患者さんで緊急性のある方や、重症度が高く集学的治療を必要とする方、また血液内科・脳神経内科・精神神経科との連携が必要な方は、札幌医科大学附属病院や札幌厚生病院などに治療をお願いしています。

## 当科の特徴

膠原病・リウマチ性疾患は、関節や筋肉の炎症・疼痛のほか眼、肺、心臓、消化管、腎臓、神経など多臓器の炎症を引き起こします。そのため、他の診療科と連携して診療にあたるのが重要になってきます。

近年、関節リウマチや膠原病の治療は非常に進歩してい



主任医長  
**鈴木 知佐子**

ます。生物学的製剤やJAK阻害薬のような分子標的薬の登場、既存の免疫抑制薬や副腎皮質ステロイドの投与方法の工夫によって、関節リウマチ・膠原病患者さんの予後は著しく改善してきています。当科でも積極的に新しい治療に取り組んでいます。同時に、これらの治療による副作用の予防・治療も重要です。

## スタッフの紹介

現在、リウマチ科の常勤医は1名です。外来スタッフ・病棟スタッフとともに、患者さんの診療にあたっています。

## 連携について

当科では、外来患者さん1人にかかる診療時間が長くなることが多く、待ち時間も長くなりがちです。患者さんの負担を軽減するため、特に初診の患者さんをご紹介いただく際には、地域連携室を経由して予約いただけますようよろしくお願いいたします。お急ぎの際は、ご相談ください。

当科の診療にあたり、他科の先生がたにはいつもご協力いただき、ありがとうございます。他科の先生がた、他施設の先生がたのお役に立てるよう励みますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



「各種生物学製剤の治療を行っています」



「リウマチ科の皆さん」

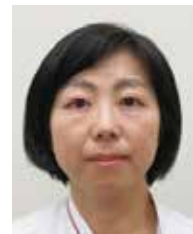
## 部門紹介

## 5階東病棟の紹介

5階東病棟は、消化器外科・肛門科・乳腺外科、婦人科、リウマチ科、プライマル科からなる混合病棟です。スタッフは、4月に迎えた新人看護師3名を含む看護師29名、介護士2名、エイド3名、看護クラーク1名、MA(医師事務作業補助者)1名の総勢36名で頑張っています。また、医師は消化器外科・肛門科・乳腺外科が6名、婦人科1名、リウマチ科1名、プライマル科が1名で、薬剤師が2名所属しています。

病棟の特徴としては、平均在院日数5.2日(2023年5月実績)で一般病棟の中では一番短く、入退院が多い病棟になっています。周手術期、化学療法や薬物療法から、終末期の患者様まで幅広い層の方が入院しています。また、月曜日から金曜日まで毎日手術がある病棟です。看護体制は2チーム制で、お互いに協力しながら対応しています。また、月曜日から金曜日まで毎日手術がある病棟です。看護体制は2チーム制で、お互いに協力しながら対応しています。消化器外科・肛門科・乳腺外科の患者様の中には、手術前から化学療法、終末期まで長い期間入退院を繰り返される患者様もいます。

この度私は4月に師長を拝命しました。昨年度1年間副師長として業務にあたっていました。新任師長となった今、想像以上の責任の重さや多重課題、業務の困難さに直面しています。至らない面や頼りないことも多いですが、スタッフや医師、関係各所の皆さんに助けられながら毎日なんとか頑張ることができています。そんな私の視点で当病棟のスタッフやエピソードを紹介したいと思います。スタッフは

5階東病棟  
看護師長

金子 佳奈

緊急入院や緊急手術にも対応しています。さらに沢山の手術を実施するために土曜日の入院も受け入れており、かなりスピーディーな仕事が求められます。そんな中でも、看護師は時に患者様のお話にゆっくり耳を傾け、新人看護師や異動や中途採用の看護師の指導にも手を抜くことはありません。一緒に働いて気づくのは、看護師の向学心と患者様の安全を守る気持ちの高さです。真面目でしっかり者の看護師ばかりだと感じています。そして、看護補助者は一生懸命働く看護師を業務だけではなく精神的にも支えています。特に若手スタッフをまるでお母さんのように見守ってくれ、その気遣いに感謝しています。また、患者様からも助けられることが多くあります。特に化学療法で定期的な入院をされている患者様や、手術前後で何度も入院されている患者様には、「師長になったんだね。おめでとう。」と言っていただいたり、温かく見守っていただいています。また、患者様からも助けられることが多くあります。特に化学療法で定期的な入院をされている患者様や、手術前後で何度も入院されている患者さまには、「師長になったんだね。おめでとう。」と言っていただいたり、温かく見守っていただいています。

以上が当病棟の紹介となります。日々患者様、スタッフと真剣に向き合い、助けていただいた分今度は私が師長として5階東病棟の役に立てるように頑張りたいと思います。



5階東病棟スタッフの皆さん

地域発

## ちあき呼吸器内科クリニック

院長 濱松 千秋 先生



2002年から20年間、中央区の山鼻地区で「ちあき内科・呼吸器科クリニック」として開業しておりましたが、2020年から世界中に蔓延しました新型コロナウイルスの感染対策の強化などのために、昨年7月に同じ中央区の創成イースト地区に「ちあき呼吸器内科クリニック」として移転開業を致しました。

移転開業の際に新たにCT装置を導入し、画像診断の精度を高めるように致しました。今年の5月に新型コロナウイルスはインフルエンザと同様の5類感染症となりましたが、その後も発熱や咳が続く患者さんが今まで以上に多くなった印象を持ちながら日々の診療を行っております。

当院で扱う疾患は、呼吸器感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、じん肺、肺がんなどの様々な呼吸器疾患の他、生活習慣病である高血圧症、脂質異常症、糖尿病、睡眠時無呼吸症候群、逆流性食道炎などの診療や治療、特定検診、企業検診なども行っております。

同じ中央区での移転開業でしたが、山鼻地区と創成イースト地区で来院される患者さんの年齢が20歳くらい若くなった印象があります。患者さんの若年化により、以前は多かった肺がんや慢性閉塞性肺疾患などの患者さんが少なくなり、新型コロナウイルス感染症を含めた呼吸器感染症や気管支喘息の患者さんが多くなっている状況です。今年の5月から新型コロナウイルスが5類感染症になり、子供さ

んが様々な感染症にり患し、家族内感染と思われる発熱や咳嗽などの症状の患者さんが夏になっても同様のペースで来院されている現状です。

全国で少子高齢化や人口減少問題が本格化して来ました。高齢者人口増加により、入院治療のニーズが今後増えてくると考えられます。今後は、病院・診療所・介護施設間でのスムーズな情報伝達をすることにより、施設同士の負担が過重にならないように機能出来ればと願っております。

最後になりましたが、JR札幌病院の皆様には大変お世話になっております。当院の移転により、今後益々お世話になることが多くなると思っておりますが、今後ともよろしくお願ひ致します。



## ちあき呼吸器内科クリニック

札幌市中央区北4条東7丁目375  
イニシアグラン札幌イースト クリニックモール1階  
TEL 011-522-5281 FAX 011-522-5582

院長 濱松 千秋

診療時間 月・火・水・金/9:00~12:30 14:00~18:00  
木・土/9:00~13:00  
月曜午後は14:00~15:30までは施設訪問診療(月2回)となり、15:30より診察開始予定となります。

休診日 日曜日、祝祭日

# 健幸な生活へ向けて～社会的フレイルについて～

今回は[社会的フレイル]についてご紹介致します。フレイルとは「加齢とともに心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態」とされています。フレイルのチェックリストを図に示します。いくつチェックがついたでしょうか。21～25番を除く20項目の内、10項目以上にチェックがつくと、将来介護が必要となる危険性が高いとされています。

[社会的フレイル]は、家族や知人との交流機会が減少するなど、社会的に脆弱な状態にあることを指します。チェックリストの4～5番及び16～17番にチェックがついた方は注意が必要です。高齢者が自立した生活を送るための活動能力のうち、「社会的役割」は最も高い活動能力であり、「積極的に社会に参加し、活動することができる能力である」とされています。高齢者の活動能力は、加齢とともにより高次のものから低下すると言われています。[社会的フレイル]の状態が続くと徐々に身体機能が低下し[身体的フレイル]、寝たきりや認知症[心理的フレイル]につながるリスクが高くなります。

継続した運動が難しいと感じる方は、地域行事への参加や

友人宅への訪問、ボランティア活動、趣味など興味があること、日用品などの買い物、健康教室や老人クラブへの参加など日常生活の中で行える活動から始めてみるのはいかがでしょうか。



リハビリテーション室  
理学療法士  
寺田 基

No.	質問項目	「はい」	「いいえ」	項目
1	1日の食量や1日の活動量は減っていますか	0点	1点	運動
2	体重が減少していますか	0点	1点	
3	疲労感が入る頻度が増えていますか	0点	1点	
4	友人の家を訪ねていますか	0点	1点	社会参加
5	家族や友人の集まりに参加していますか	0点	1点	
6	趣味をやるややめたりする回数が増えていますか	0点	1点	
7	親子3世代で集まる回数が増えていますか	0点	1点	家族関係
8	1ヶ月休む回数が増えていますか	0点	1点	
9	この1年間に転倒した回数が増えていますか	0点	1点	
10	転倒に怪我をする回数が増えていますか	0点	1点	転倒
11	1ヶ月間で2kg以上の体重減少がありますか	0点	1点	
12	身長が1cm以上縮小していますか	0点	1点	
13	半年前に比べて歩行速度が速くなりましたか	1点	0点	歩行
14	歩行中の頻りに歩く回数が増えましたか	1点	0点	
15	歩行中の頻りに歩く回数が増えましたか	1点	0点	
16	1日に1歩以上歩かれていますか	0点	1点	歩行
17	歩行中に頻りに歩く回数が増えていますか	1点	0点	
18	歩行中に頻りに歩く回数が増えていますか	1点	0点	
19	歩行中に頻りに歩く回数が増えていますか	0点	1点	歩行
20	歩行中に頻りに歩く回数が増えていますか	1点	0点	
21	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	
22	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	歩行
23	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	
24	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	
25	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	歩行
26	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	
27	この1年間に歩行速度が速くなりましたか	0点	1点	

表 基本チェックリスト(厚生労働省作成)

# 食欲の秋について

秋は、食欲の秋と言われるように、1年の中で一番食欲が増す季節として知られています。

食欲の秋といわれるようになった由来は諸説ありますが、秋は果物や穀物など様々な食材が旬を迎えるため美味しい食べ物が多く、いつもより食欲を増す人が多くなると考えられ、食欲の秋という言葉ができたという説が、有力だと言われています。

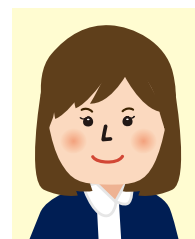
秋に食欲が増す理由も様々挙げられ、夏バテから回復し食欲が増す、冬に向けて栄養を蓄えるために食欲が増すとも言われています。また、神経伝達物質のセロトニンの分泌量との関係も挙げられます。秋は、日照時間が急速に短くなるため、それに比例しセロトニンの分泌が減少してします。セロトニンには、精神安定・食欲を抑制する作用があり、セロトニン生産量を増加させるため

に、食材からセロトニン材料を沢山取り入れようと食欲が増す可能性もあると言われています。

秋の食材の代表として、秋刀魚、栗、梨、柿、さつまいも、かぼちゃ、じゃがいも、きのこなど様々な食材があります。

当院では秋の行事食として、『秋分の日』『敬老の日』『スポーツの日』『鉄道の日』があり、秋分の日、米飯(新米ゆめびりか)、かき揚げ盛り合わせ(さつまいも)、秋寄せ煮(栗)、巨峰と、旬の食材を取り入れた行事食の提供を行っています。

旬の食材は、比較的安価で、栄養価が高く、新鮮で美味しさが増すなどメリットばかり、秋は美味しい食材の宝庫です。食べ過ぎには気をつけつつ、食欲の秋を楽しんでみてください。



栄養管理室  
管理栄養士  
村仲 聡子



「秋分の日」の行事食



「スポーツの日」の行事食



「鉄道の日」の行事食

# 紹介受診重点医療機関になりました!!

【紹介受診重点医療機関】として、2023年10月1日より、紹介状なしで受診された方の窓口負担が変わります。※詳しくは、当院HPをご覧ください。

【初診時選定療養費:医科 7,700円/歯科 5,500円】

○初めて当院を受診された方

○最終受診から一定期間経過後に受診される方(予約の方を除く)

○いったん治癒した後に別の疾患で受診される方

【再診時選定療養費:医科 3,300円/歯科2,090円】※受診する度にかかります

○病状が安定し、当院より他の医療機関等へ紹介を行う旨の申し出を行ったにも関わらず、ご自身の希望で当院を引き続き受診される方

## JR札幌病院 外来診療医師予定表 令和5年10月

受付時間:【月～金曜日】 午前8:30～11:00 午後12:00～15:30

科		月	火	水	木	金	備考
消化器内科	午前	新患外来 (安達) 世戸	新患外来 (守谷) 安達	新患外来 (安達) 志谷	新患外来 (志谷) 守谷	新患外来 (守谷) 安達	午後診療は紹介状持参の緊急を要する患者のみとなります
	午後	急患対応	急患対応	急患対応	急患対応	急患対応	
リウマチ科	午前	鈴木	鈴木	神田(出張医) (予約)	鈴木		紹介患者は予約のみ受付していますが、それ以外の新患は受付していません。
	午後		鈴木(予約)			鈴木(予約)	
呼吸器内科	午前	新患外来 市村 高橋	新患外来 四十坊 亀田	新患外来 四十坊 高橋	新患外来 市村 伊藤	新患外来 伊藤 亀田	午前診療は紹介状持参の方も対応は可。 予約の場合は、医療機関を窓口としてのご紹介をお願いします。
	午後				四十坊(予約)		
糖尿病内科	午前	寺沢 <sup>*1</sup>	腹膜透析専門 外来(予約)	吉田	富樫 <sup>*1</sup>		※1糖尿病内科 富樫医師(腎臓内科兼務) 寺沢医師(腎臓内科兼務)
	午後	富樫(予約) <sup>*1</sup>		吉田(予約) 寺沢(予約) <sup>*1</sup>	腹膜透析専門 外来(予約)	吉田(予約)	
循環器内科	午前	清水 一村(出張医)	大沼	安藤 一村(出張医) ペースメーカー専門外来	長谷川	安藤 吉岡	午後診療は予約の患者のみとなります ペースメーカー専門外来 水曜日(予約のみ)
	午後	検査	長谷川(予約) 吉岡(予約)	検査	大沼(予約)	検査	
外科 乳腺外科	午前	齋藤	金澤	鶴間	平田 <sup>*2</sup> 齋藤	鶴間 田山	診察は予約制 ※2 乳腺専門外来 13:00～ ※3: 便失禁・便秘外来(完全予約制) 金曜日 14:30～
	午後	(手術)	平田 <sup>*2</sup>	鶴間(予約)	(手術)	鶴間 <sup>*3</sup>	
血管外科	午前	小濱	小濱	(検査)	(手術)	川原田 <sup>*4</sup> (専門外来)	診察は予約制 ※4: 川原田医師の専門外来は動脈瘤
	午後	(検査)	(検査)	(検査)	(手術)	(手術)	
産婦人科	午前	山中	山中	山中	山中	山中	
	午後	(手術)	(検査)	(手術)	山中(予約)	(検査)	
歯科 口腔外科	午前	小林 北川 阿部	小林 北川 阿部	小林 北川 阿部	小林 北川 阿部	小林 北川 阿部	診察は予約制
	午後	北川 (手術)	北川 (手術)	北川 (手術)	北川 (手術)	北川 (手術)	
眼科	午前	田中 藤本	田中 藤本	田中 北瀧谷	田中 北瀧谷	藤本 北瀧谷	診察は予約制
	午後	(手術)	(検査)	(手術)	(検査)	(検査)	
泌尿器科	午前	北原	北原	永森	舘岡	北原	
	午後	(手術)	舘岡	(手術)	(手術)	舘岡	
耳鼻咽喉科	午前	梁川(予約) 長島	久保	梁川(予約) 長島	久保 長島(第2・4) <sup>*6</sup>	久保	診察は予約制 ※5: 中耳術後専門外来 ※6: 第2・4木曜日は中耳専門外来(予約制)
	午後	梁川 <sup>*5</sup> (予約)	(手術)	(検査)	(手術)(検査)	(手術)	
皮膚科	午前	宮澤 伊藤(予約)	黒澤 木村 伊藤(予約)	木村 宮澤 伊藤(予約)	宮澤 木村	宮澤 不定 伊藤(予約)	午後診療は予約患者及び紹介状持参の患者のみ
	午後	木村(予約) 伊藤(予約)	宮澤(予約) 伊藤(予約)	黒澤(予約) 伊藤(予約)	木村(予約)	黒澤(予約) 伊藤(予約) <sup>*7</sup>	
整形外科	午前	廣田(出張医) 小路	金谷 小路	小路 岡田(出張医)	金谷 小助川(出張医)	金谷 小路	
	午後	(手術) (検査)	(手術)	(検査)	(手術)	(手術) (検査)	

土曜日は休診となります。

### 編集後記

今年はコロナが5類になり、規制が緩和されて、昨年よりもイベントや旅行を楽しんだ方も多いと思います。また、秋は美味しい食べものがたくさんあるので楽しみが増えますね。この季節、寒暖差が激しいので、風邪には気を付けて過ごしましょう。(T.N)

発行日/2023年10月1日

編集長/長谷川 徹

編集者/大村 早代・谷口 きよみ・石川 剛・藤原 和希・蝦名 留伊  
寺田 基・渡邊 悠太・章 純樹・中村 拓海

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>